






様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

共通項目 キャンパス全体

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取り組み】	12.2 	・コピー用紙削減の取り組みについては、各課の報告による。 ・各課における削減の取り組みにより、目標から約3割の削減が実現した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。 (Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取り組み】 ・3Rから5Rへ意識を向ける。 ①Refuse (リフューズ) 断る ②Reduce (リデュース) 発生抑制 ③Reuse (リユース) 再使用 ④Repair (リペア) 修理 ⑤Recycle (リサイクル) 再生利用	12.2 	・廃棄物と資源化物の総量について、令和4年度は元年度と比べて20%の減少となった。 しかし、コロナ禍での比較をすると年々増加しており、令和3年度よりも25%の増加となっている。 ・一般ごみの割合が減っておらず、資源ごみに分別していくことが課題であり、啓発を行っていくことが必要である。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取り組み】	12.2 12.7 	・各課の報告による。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・照明のLED化	7.3 12.2  	・過去5年間の平均電力使用量と比べると令和4年度は3%の削減となった。 しかし、コロナ禍での比較をすると年々微増している。 ・こまめな節電が課題であり、教室や部屋の不在時消灯など使用者への啓発に加え、人感センサーの検討も行いたい。

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 広報課 広報担当(100周年担当)

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取り組み】</p> <p>会議等に限らず、MTGや打合せ等でも画面共有やモニターを活用し、極力紙を使用しない努力をするとともにメールやTeamsでの資料確認・決裁も活用する。また、紙を使用する場合にも裏紙を活用するなど、使用枚数を削減を行う。</p>	12.2	<p>具体的な取り組みに挙げた内容を、担当内で共有し、各職員が担当業務において積極的に実施した。課内MTGや担当内MTGにおいても極力紙を使わず、パソコンやモニターによる資料確認で済ませた。</p>
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取り組み】</p> <p>職員一人一人が分別やごみ削減等3Rを意識するべく、MTG等で適宜声掛けを行う。また、紙の廃棄に関しては、再利用を意識し、原則としてシュレッダーを環境整備チームに依頼する。</p>	12.2	<p>具体的な取り組みに挙げた内容を、担当内で共有し、各職員が積極的に実施した。ごみの分別、紙のシュレッダーによる廃棄についても職員一人一人が意識して取組んだ。</p>
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <p>【各取り組み】</p> <p>原則としてグリーン購入の適合品を購入し、適合品がない場合にも適合品への転換等を検討する。</p>	12.2 12.7	<p>具体的な取り組みに挙げた内容を、担当内で共有し、各職員が積極的に実施した。グリーン購入可能な物品については、全て適合品を購入した。</p>
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は2UP3DOWN 照明のLED化 <p>【各取り組み】</p> <p>原則として、電気を使用しない執務室の温度管理を行い、空調を使用する場合でも、扇風機等も活用した適切な室内温度管理を行う。</p>	7.3 12.2	<p>具体的な取り組みに挙げた内容を、担当内で共有し、各職員が積極的に実施した。空調は基本的には扇風機と併用し適切な室内温度管理を行った。</p>
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議資料および印刷物の制作	大学案内等の各種広報物の校正作業による紙の削減及び制作冊子の印刷部数の適正数での発行を行う。広報委員会や周年事業関係の会議においても、昨年度に引き続き、画面共有当を活用し、紙資源の増加を防ぐ。	校正作業時の印刷部数を最小限にするとともにデジタル媒体等も活用し極力印刷する部数を減らす。会議の事前資料確認や事前説明、会議当日など、遠隔的な開催方法などと併せて紙による確認、配布数を減らす。課内や担当内での打ち合わせにおいても、画面共有などを活用し、印刷資料の配付数を減らす。	12.2	<p>大学案内の校正作業は印刷物を複数人で共有しながら確認作業を行い、印刷部数を抑えた。会議資料についてもZoom開催を多様することにより、印刷物の配付を減らした。</p>
次年度の課題	引き続き、会議や打ち合わせについてはZoom会議などペーパーレスによる会議運営を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。省資源、省エネルギー化の取り組みついて、職員一人一人への周知や自発的な取組を促す啓発活動を強化していきたい。			
環境活動者の取り組み評価	省資源、省エネルギーの意識が課内スタッフに浸透し、環境負荷を考慮した行動が定着しつつある。引き続き課を挙げてSDGsの目標達成を意識した業務遂行を目指していく。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 広報課卒業生・基金担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議等に限らず、MTGや打合せ等でも極力紙を使用しない努力をするとともにメール決裁も活用する。 	12.2 	目標に掲げた取組について積極的に推進し、省資源の取組を行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が分別を意識するべく、MTG等で適宜声掛けを行う。 	12.2 	目標に掲げた取組について積極的に推進し、MTG等による声掛けを通じて周知を行った。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーン購入の適合品を意識し、優先的に購入する。 	12.2 12.7 	目標に掲げた取組について積極的に推進し、業務執行にあたって常に心がけるとともに、グリーン購入の適合品を優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は2UP3DOWN 照明のLED化 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> エアコンによらない、扇風機等も活用した適切な室内温度管理を行う。 移動の際は、原則公共交通機関を利用する。 	7.3 12.2  	目標に掲げた取組について積極的に推進し、省エネルギーの取組を行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
印刷物の制作	校正作業による紙の削減及び制作冊子の印刷部数削減	<p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校正作業時の印刷部数を最小限にするとともにデジタル媒体等も活用し極力印刷部数を減らす。 	12.2 	目標に掲げた取組について積極的に推進し、省資源の取組を行った。
次年度の課題	引き続き、打ち合わせや会議についてはZoom会議などペーパーレスによる会議運営を推進する。 省資源、省エネルギー化の取り組みについては、職員一人一人への周知や自発的な取組を促す啓発活動を強化していきたい。			
環境活動者の取り組み評価	省資源、省エネルギーの意識が課内スタッフに浸透し、環境負荷を考慮した行動が定着しつつある。引き続き課を挙げてSDGsの目標達成を意識した業務遂行を目指していく。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス グローバル推進室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内の情報共有時は紙ではなくメール添付で行う ・Zoom会議を積極的に活用し、資料はPC上から閲覧できるようにする。 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や打ち合わせの際には画面共有を実施。学内会議、打合せはZoomを利用し、資料も各自PCから閲覧実施が出来た。 ・情報共有はメールで行いペーパーレスを推進した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で極力ごみの出ない取組を行うとともに、事務用品で再利用出来るものは再利用をする。 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイボトルの利用者多数。 ・課内ゴミ箱も分別を確行した。 ・物を購入する前、必要性を検討し、計画的に行った。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 <p>・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</p> <p>・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。</p> <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、備品類発注の際は、環境に配慮したグリーン購入適合品有無を確認の上、課内での購入手続きを行う。 	12.2 12.7 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理研修の実施により、環境に対する意識の醸成が行われた。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調使用時は窓を閉め、ブラインドを使用するとともに、風量を弱にするなど節電を心掛ける。 ・窓を開けてこまめな換気を行う。 	7.3 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の温度は適切に設定し、気温に合った服装を各自心掛けた。 ・窓口の対応時間に合わせ消灯も実施し、利用しないスペース(キッチンや時間外の玄関等)の電気を消すなど、電力消費の最小化を目指した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
オンライン留学及び留学にかかる経済的支援の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航せずに授業を自宅から受講出来る教育の機会を与える。 ・経済的理由から留学が困難な学生へ留学機会を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質が担保され、経済的な負担を軽減したオンライン留学プログラムを提供する。 ・100周年プロジェクト基金を活用し、経済的な理由から留学が困難な学生に向け、審査の上奨学金を支給するプログラムを構築する。 	4.3 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間中にオンラインプログラムを提供した。 ・100周年PJの一環で、はまぎんGlobal Challengeを立上げ、経済的な理由から留学が困難な学生に向けたプログラムを提供した。
留学生受入	JICA等機関と連携し、日本で研究を希望する学生に教育の機会を与える。	<ul style="list-style-type: none"> ・JICAプログラムを通じてアジア・アフリカ等からの留学生を受け入れる。 	4.3 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度は、JICAプログラムを通じて、エジプトから1名、レソト王国から1名の留学生を受入れた。
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の提供を中止する大学が増えてきたため、情勢にあった留学機会の提供のための工夫を行う ・100周年プロジェクトの実施に伴う類似プログラムの整理 			
環境活動者の取り組み評価	<p>取り組み内容については室内研修の場などで適宜情報共有を行い、環境管理意識の室内全体での向上を図るとともに、研修の場や都度必要な場面で意見交換もを行い、日頃の業務から環境管理について取り組めるものがあるかどうか適宜見直しを行っている。</p>			








共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和 3 年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面 N - up 印刷又は裏紙で N - up 印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明(会議)資料を簡潔にする。 全ての複写機にコピー用紙削減(単価等記入)のポスター掲示を行い啓発を促す。また、購入量についても各課にフィードバックを行い意識してもらおう。 打ち合わせでも、資料を印刷せず、メール等で資料を共有し、各自PCを持ち込む。 各部署に、zoom等Web会議の積極的な利用を働きかける。 	12.2	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙削減のため、1枚・1箱あたりの単価等を記載した啓発ポスターの掲載を引き続き行ったほか、購入量を各課にフィードバックした。 契約審査会では、zoom開催とし、会議資料のペーパーレス化を継続実施した。 各種会議や打合せ、上司説明時等、事前に電子媒体の資料をメール送信し、PC等の持ち込みによる対応を促すなど、紙資料の配布を最小限とした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3 R から 5 R の取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5 R の意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 R から 5 R へ意識を向ける。Refuse (リフューズ) 断る Reduce (リデュース) 発生抑制 Reuse (リユース) 再使用 ④Repair (リペア) 修理 Recycle (リサイクル) 再生利用 	12.2	<ul style="list-style-type: none"> 各課から不要になったリサイクル可能な消耗品を、学内払出物品の在庫として管理し、再利用を徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 全職員にグリーン購入について知ってもらう啓発チラシを作成する。 	12.2 12.7	<ul style="list-style-type: none"> 定例決裁簿のグリーン購入適合欄の運用を通じて、啓発を図った。 新採用職員研修・FD研修においてSDGsの取組を紹介し、グリーン購入の促進等について啓発を行った。
省エネルギーの取り組み	過去 5 年間の平均電力使用量より 1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は 2 UP 3 DOWN 照明のLED化 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 始業前、昼休憩時などの業務時間外は消灯を徹底する。 打ち合わせ等退席時のPC電源オフ エアコン使用時の扇風機の併用 	7.3 12.2	<ul style="list-style-type: none"> 始業前などの業務時間外は消灯を実施した。 空調効率の向上のため、エアコン使用時に扇風機を併用した。 執務室内の温度に応じて服装を合わせ、空調の使用を可能な範囲で控えるなど省エネを実践した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット	振り返り
備品・物品管理	各所管で不要となった物品は、再利用するなど、物品の購入を必要最低限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> 安易に物を購入せず、再利用物品の積極的な活用を推進する。 	12.2	<ul style="list-style-type: none"> 各課から不要になったリサイクル可能な消耗品を、学内払出物品の在庫として管理し、再利用を徹底した(再掲)。
会議の運営	会議の運営に係る電力の消費や、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> 会議室は極力同じ部屋を連続して使用(できるだけだけ執務室を使用)する ノートPC、タブレットの使用 紙配付資料の削減 	7.1 12.2	<ul style="list-style-type: none"> 契約審査会では、zoom開催とし、会議資料のペーパーレス化を継続実施した。(再掲) 各種会議や打合せ、上司説明時等、事前に電子媒体の資料をメール送信し、PC等の持ち込みによる対応を促すなど、紙資料の配布を最小限とした。(再掲)
次年度の課題	<p>快適な職場環境を維持しつつ、冷暖房の使用をできる限り抑えて省エネルギーを徹底できるかは、執務室内の職員による共有理解が必要となる。また、伝票等の経理書類については紙での運用が残っているため、中長期的な課題として検討を進める。</p>			
環境活動者の取り組み評価	<p>各種会議や審査会等における資料印刷の廃止等を実践することができた。また、YCU法人Newsを通じて、SDGsの取組を周知したほか、新採用職員研修やFD研修においても、環境に関連する取組状況を紹介し、周知・啓発を行うことができた。</p>			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の事前送付により、打ち合わせ、会議等の紙配布資料を削減する。 資料共有については、ZOOMの画面共有機能を活用する。 	12.2	<ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷などを使用し、印刷量を減らした。 裏紙の利用で支障がない用紙には裏紙を積極的に活用した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使い捨て商品はなるべく使わない。 商品購入時は、再生品やエコマークをチェックする。 物品が必要な時に、今あるもので代用できるものがないか検討する。 再利用コーナーを活用する等して、不要備品を有効活用する。 	12.2	<ul style="list-style-type: none"> マイボトルやマイカップを利用した。 必要な備品類などは安易に新規購入せずに、既存にある物を工夫して利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入担当者がグリーン製品であることを確認、検討して購入する。 リサイクル製品の購入も検討する。 不要となった場合は、可能な限りリユース、リサイクルし、廃棄せざるを得ないものは適切に処分する。 	12.2 12.7	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品の購入時はグリーン製品であることを確認し購入した。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は2UP3DOWN 照明のLED化 <p>【各取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> OA機器や照明等をこまめにスイッチオフする。 季節や室温に合わせた服装をする。 扇風機の効率的な使用により、エアコン使用を抑える。 	7.3 12.2	<ul style="list-style-type: none"> クールビズや防寒着の着用等、季節に合わせた服装をした。 各棟の廊下の照明スイッチに不要な時は消灯するよう印を付けて節電を促した。 昼休みに執務室の不要な場所の照明を消灯した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
各申請書等の電子化検討	YCU-net・文書管理システムの申請書を紙からオンライン化できるよう、手法検討を進める。	R3年度に引き続き、各課と連携し、紙で運用されている申請書等の電子化を行い、紙資源の無駄を削減できるよう、手法を検討する。	12	テレワークや財務関係の申請様式を文書管理システムで処理することにより、申請書等の電子化を図るとともに紙資源の無駄の削減に取り組んだ。
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策	R3年度に引き続き、法人内への注意喚起や対応方針の発出等を行い、感染症拡大防止に係る対応を実施。	3.8	コロナ対応に関する大学部門の局部課長会議を定期的に開催し感染症防止に係る対応をとったほか、学内に感染症防止にかかる通知等を発出するなど、引き続き対策を講じた。
研修および啓発活動の環境配慮実践	研修および啓発活動のオンライン化徹底	<ul style="list-style-type: none"> eラーニングシステム、動画教材の活用 紙資源(パンフレット等)は必要最小限、使用した場合は必ず100%リサイクルを実施。 	12.2	研修はすべてオンラインで行った。
働きがいのある職場づくり	ICTの活用により「風通しの良い、働きやすい」職場の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> Teams等コミュニケーションツールの積極的な活用による職場コミュニケーション活性化。 テレワーク、フレックスの活用によるワークライフバランスの推進 	17.17	「風通りの良い職場づくり」をテーマに研修を行った。
工事	地球温暖化ガスの排出削減。工事において、建設機械は国土交通省が認定した排出ガス対策型を100%使用する。	<ul style="list-style-type: none"> 工事施工者に対して、建設機械については排出ガス対策型を使用することを依頼する。 建設機械の現場搬入時に、排出ガス対策型であることを確認する。 	12.2	工事施工者に排出ガス対策型の機械を使用することを依頼すると共に、施工時にその確認を行った。
修繕、改修	環境への配慮を明確に伝える。	グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記し、工事実施時点で適合状況を確認する。	12.2 12.5 15.1	グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記すると共に、施工時にその確認を行った。
施設の長寿命化	施設の点検等により必要な箇所に対応する。	建築物の劣化において、早期に修繕対応することで、大規模な修繕とならないようにする。	12.2	電気、消防、機械設備について、定期的な点検や老朽化している部品交換を計画的に行った。
屋外清掃	委託先において、廃棄物の再利用を行う。	不要になったものを積極的に再利用する。	12.5	不用品を利用して必要な備品を制作することで、できるだけ新規購入しないようにした。
エネルギーの節約	全キャンパス合計で、エネルギー使用量を3年間で、1%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> 教室、部屋の不在時消灯 省エネ機器の導入 老朽化設備の更新 照明のLED化 掲示物の更新をし、再度啓発を行う。 	7.3 12.2	本校舎教室のLED化を完了させた。掲示物を更新し目につきやすくして啓発に努めた。
スクラバー実験排水	敷地外に漏洩させない。	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検、教員への啓発・周知を行う。 	14.1、14.2、6.3、12.4、12.5	スクラバーの点について、教員への周知を行い計画的に実施した。
次年度の課題	会議でのZOOM活用や打ち合わせ時の画面共有によりペーパーレス化が定着しつつあるが、簡易起案や定例決裁簿など紙で処理しているものもまだあり、文書管理システムや電子化によりさらにペーパーレス化できるように検討していくことが課題である。			
環境活動者の取り組み評価	廃棄物減量・リサイクルについては、マイボトル、ごみの分別が定着している。グリーン購入についても定例決裁簿によりチェック体制ができています。省エネルギーについては、季節に合わせた服装による取り組みは実施されているので、さらなる取り組みとして不要な場所の消灯を習慣づけていきたい。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス ICT推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・ 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取組】</p> <p>委託業者との打合せは基本的にZoomを使って行い、対面の場合にも、電子ファイルの事前送付を心がけ、紙資料の持参などは避けることを依頼する。</p>	12.2 	WEB会議やPC持ち込みを基本として運用し、紙の使用量を削減。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイバッグ、マイボトルの利用。 ・ 丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・ 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・ 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・ YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・ 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取組】</p> <p>不要になったPC・ディスプレイ・ケーブル類でまだ使えそうなものがある場合、パーツ交換等でメンテナンスして別用途にて再利用する。</p>	12.2 	各所管・研究室にて不要になったディスプレイ等の引き取りの申し出に対して、当該にて回収後、別用途にて利用。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理研修にて職員への啓発 ・ カタログ又は見積先に確認 ・ 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 <p>・ 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</p> <p>・ 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。</p> <p>【各取組】</p> <p>消耗品は必ずグリーン購入適合品を選ぶ</p>	12.2 12.7 	消耗品購入時にはグリーン購入適合品を選択。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・ 冷房期温度28、暖房期を19 ・ 暖房用電気ヒーターの禁止 ・ 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・ 教室、部屋の不在時消灯 ・ エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・ 照明のLED化 <p>【各取組】</p> <p>PCを一定時間操作しなかった場合にディスプレイの電源を切る設定にする</p>	7.3 12.2  	システムの一括処理など途中でスリープすると不具合が生じる作業を行わない端末については、ディスプレイの電源を切ってスリープ状態になる設定を実施。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
未使用旧式PCのカスタマイズ再利用	有効活用されていない旧式PC27台を再利用する。	HDDのため動作が重く、有効活用されていない教育推進課所有のPC27台をICT推進担当で引き取った後、SSD換装して払出し用PCとして再利用する。	12.2 	教育推進課から譲り受けたHDD仕様のノートPC27台をSSD換装した上で事務用PCとして払出しを実施。
PC・タブレットのリサイクル	廃棄対象のPC・タブレットの一部をリサイクルに回す。	バッテリーやHDD/SSDの取り出しができず、大学でのデータ漏洩防止措置(消去・物理破壊)が困難な端末について、業者委託によるデータ消去を行った上で、リサイクルに回す。	12.2 	年度末に八景キャンパス内で回収した分解(バッテリー・記憶媒体の取り外し)不可端末について、業者委託による取り外しを実施した後、八景キャンパスの粗大ごみとして業者委託の廃棄フローに載せることで一部リサイクルを実施。
次年度の課題	購入後4.5年経過したHDD端末に関して、動作不良の申告・相談件数が増えており、また、それらの端末はWindows11へのアップグレード(Windows10のサポート期限は2025年10月)のスペックを満たしておらず、SSD換装による延命・改善も見込めないため、今後、端末入替による廃棄台数が増える可能性が高い。データ漏洩等のないよう、廃棄のための事前処理の周知案内と実施を徹底する必要がある。			
環境活動者の取り組み評価	旧式ノートPCについて、HDDからSSDに換装することで通常事務用PCとして問題のないパフォーマンスへと改善し、27台を廃棄せずに有効活用することができた。			

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 人事課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組み】 ・コピー用紙使用量について、コピー機の前に今年度の目標値と前月の使用枚数の周知を図り、意識づけを行う ・委員会や会議での紙の資料を減らすため、貸出用のPCを6台購入する	12.2 	・従来人事委員会では外部の委員でも限られた時間で要点をしっかりと理解できるように紙の資料を用いていたが、令和4年の7月からAdobeのしおり機能を用いたりファイルを細分化する等の工夫を行い、データではどこに何の資料があるか分かりづらいという問題を解決することで、紙資料と同じ利便性を保ったままペーパーレス化できた。結果、コピー用紙の使用量を令和3年度の67%に縮小でき、18万円以上の経費削減につながった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組み】 ・環境整備チームでのシュレッダー業務の周知と拡大	12.2 	・事務用品については、必要性を十分検討し、計画的に購入した。 ・秘密文書の溶解処理量を削減するため障害者雇用推進室にシュレッダー処理を依頼した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取組み】 ・課内での周知徹底 ・適合かつ安価な商品を購入するために、グリーン購入に関して常に積極的な情報収集を行う	12.2 12.7 	・消耗品はカタログでグリーン購入法適合商品を選択し購入するよう努めた。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取組み】 ・サーキュレーターを活用 ・ブラインドを降ろし直射日光を遮断(夏季)	7.3 12.2  	・冷暖房は所定の温度に設定し、上着で調節する等快適に業務できるよう取り組んだ。 ・夏季はブラインドを降ろし、サーキュレーターを使用する等電力削減に努めた。 ・冷暖房に風よけを取りつけ、座席によって体感温度に差が出ないように調整した。 ・超動中に執務内の人数が減少した際には適宜不要な照明を消灯し節電に取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
育児・介護制度の利用促進	教職員が育児・介護制度を利用しやすい職場環境を整える	・「男性教職員の3日から8日の出産・育児に係る有給休暇」の対象職員全取得を目指す、各職場で管理職からの周知が徹底されるよう働きかける ・介護制度について周知を徹底する	5.4 8.5  	・YCU法人ニュースで年に5回ワークライフバランス支援に関するお知らせを掲載する等した結果、男性の育休取得率が昨年度同時期に比べ増加した。 ・育休に対して具体的なイメージやポジティブな印象をもってもらうために、HPに育休に関するリーフレットや育休を取得した先輩職員の体験談を掲載し、参考になる事例を提示した。
働き方の見直し	超過勤務の縮減や休暇制度の利用促進により誰もが働きやすい職場環境を整える。	・在宅型テレワークによる柔軟な働き方の更なる促進・継続 ・出退勤管理システムで休暇の計画的な取得の呼びかけ	4.4 8.5  	・休暇の取得を意識づけ、最低でも年間5日の休暇を必ず取得してもらうために、出退勤管理システムのお知らせ機能や給与明細の表紙のメッセージを利用して、定期的に休暇取得を呼びかけた。
次年度の課題	・行事や会議によってはまだ紙を多く使うものもあるため、引き続きOneDriveやPCを活用して資料を共有することで紙の削減に努める。 ・コロナが5類になったことにより、在宅型テレワークの運営方法を適応させる必要がある。			
環境活動者の取り組み評価	・資料のペーパーレス化を図り、紙の使用量を大幅に削減できた。 ・法人ニュースやHPをととして、男性の育休取得推進を徹底して行った。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>









金沢八景キャンパス 教育推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組み】 ・会議資料のデータ配信、配布資料の持参及び回覧により印刷の削減を図る	12.2	12 つくも責任 つかう責任 両面、N-up、裏紙での印刷およびオンライン会議の活用は標準として浸透しており、ほぼすべての会議においてデータ配信を行うことでコピー用紙の使用量の削減につながっている一方で、テレワークから出勤に切り替える職員が増え、教職員の対面打合せが増えていること、対面講義の割合が増えたことで、コピー用紙使用量も増加したと考えられる。引き続きLMSの利用促進などを通じて、コピー用紙の削減を進めていく。 (R2目標値421,000枚、R3実績値484,000枚、R4年度実績値：566,500)
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組み】 ・文具、備品等の積極的な再利用・活用	12.2	12 つくも責任 つかう責任 執務室の整理を通じて生じたドットファイルについて、事務支援チームと協働して再利用物品とした。調達時は必要性を十分考慮して最低限の購入にとどめている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積りに確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取組み】 ・整理整頓を行い、物品の重複購入を控える	12.2 12.7	12 つくも責任 つかう責任 各担当において環境管理研修を実施して啓発に努めた。グリーン購入については、適合品であるかを都度確認しており、適合品がある物品については優先的に購入している。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取組み】 ・離席時のモニターの電源off、パソコン、コピー機の待機時省電力機能の設定 ・ブラインドの効果的利用	7.3 12.2	7 エネルギーと気候変動に責任を負う 12 つくも責任 つかう責任 環境管理研修などを通じて空調、照明、パソコン、コピー機等の消費電力を効果的に抑制するよう、職員への啓発を行った。関連して、執務室の最終退室者が空調、照明、シュレッダーの電源offを確認する取組が徹底されている。ブラインドの利用による直射日光の遮断やこまめな温度管理、使用していないPCやコピー機は省電力機能の設定をするなど電力の節減に努めている。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
啓発への協力	海洋都市横浜うみ協議会での活動を通じ、海における環境保護活動に協力する。	【各取組み】 ・海洋環境問題に関する講座開催、行事参画	4.7 14.3	4 質の高い教育をみんなに 14 海の豊かさを守ろう 横浜市政策局と連携の上「海洋都市横浜うみ博2022」、「海と産業革新コンベンション」への出展や、中学校からの依頼を受け、中学生と本学教員の交流の機会を設定するといったSDGsへの啓発活動に貢献した。
教育・啓発	授業におけるSDGsとの関連の可視化を行う。	【各取組み】 ・授業計画(シラバス)に授業内容と関連するSDGs項目を掲載	4.4 8.8 10.2	4 質の高い教育をみんなに 8 豊かになりながら持続可能な成長を目指す 10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を築く 本学授業科目におけるSDGs該当項目の集計と学内展開、学内教職員・学生対象のFD研修会を開催した。シラバス作成時にSDGs関連の授業の情報収集を行い、学生および学外に公開するなど、広報活動への協力を行った。
次年度の課題	コピー用紙の使用枚数が増加傾向にあるため、教職員の打合せにおいても業務用PCの携帯などを積極的に行い、コピー用紙の使用削減を目指す。また、授業におけるコピー用紙の使用については、引き続き教員にLMSやクラウドを利用した配布方法を啓発し、学生が自身の端末で講義資料が確認できる環境整備を進める必要がある。			
環境活動者の取り組み評価	省資源や廃棄物減量・リサイクルの取組、グリーン購入の促進、省エネルギーの取組については、担当者に浸透しており、振り返りにあるような取組が日常業務を進める中で行われている。SDGsについては、公開行事・講座に加え、本学授業科目におけるSDGs関連科目の集計及びFD・SD研修会を通じての取組も行い、学長諮問会議において定期的に報告を行った。引き続き、内容を精査しながら学内および学外へ発信していきたい。			

様式1(第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 教育推進課 鶴見C担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取り組み】 ・印刷時の必要性の再確認を徹底 ・会議のオンライン化による紙配布資料の廃止 ・情報共有にはメールを積極的に活用	12.2 	R4年度は研究活動のさらなる増加や、対面イベントが再開されたため、目標28,000枚に超過する結果となった。引き続き、両面印刷の徹底や、配布資料の電子化推進に取り組んでいく。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う ・壊れたものはできる限り修理して再利用する ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取り組み】 ・再利用物品コーナーの活用 ・不要物品のキャンパス内での再利用促進 ・耐用年数の長い新規設備の購入	12.2 	持ち込みゴミの禁止等の周知を徹底したが、R4年度は研究活動のさらなる増加及び対面イベントの再開等により廃棄物が増えたため、廃棄物の総量(発生量)については、R1年度実績より3.6%の増加となった。ただし、資源化量が増えているため、廃棄量は減少している。今後も引き続き、持ち込みゴミの禁止等の周知を徹底する。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック 【各取り組み】 ・市大・理研共催の一般公開イベント時、グリーン購入調達率100%を目指す	12.2 12.7 	キャンパス内での周知や回覧中のチェックにより、100%を達成した。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取り組み】 ・退室時の空調の消し忘れ防止の啓発 ・老朽化した機器の更新による省電力化	7.3 12.2  	キャンパス内で、不在時の照明オフの周知を徹底し、電力消費量は令和元年度比95.8%となった。事務室等の一部照明のLED化、エレベータールームへの人感センサー導入等、省エネルギー化に努めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
教育・啓発	廃棄物・電力使用量等の積極的な削減に取り組むよう啓発をする。	【各取り組み】 ・教育・研究活動を通じて、ごみの分別・節電等について啓発を行う ・キャンパス内でメールなどを活用し、定期的に周知を行う	7.3 	定期的にキャンパス内で教員への周知を行い、削減努力を行っている。
施設管理・修繕等	環境に対する負荷の削減 工事等において環境に対する配慮ができているようにする。	【各取り組み】 ・仕様書に盛り込むとともに業者へ指導する ・工事期間の可能な範囲での短縮により、トラックの使用頻度の削減を目指す	14.1 15.1  	業者への指導を徹底している。今後も環境に対する負荷の削減に努める。
次年度の課題	対面授業割合の増加、対面イベントにおける人数制限の緩和に伴い、エネルギー消費量や産業廃棄物の増加が見込まれる。そのため、さらなる節電や産廃削減に向けた周知・啓発を徹底する必要がある。			
環境活動者の取り組み評価	会議についてはオンライン化が継続されているものの、教育、研究、地域貢献活動については対面形式に戻ってきたため、コピー用紙購入量については目標を超過する結果となった。省エネルギー、資源化をはじめとした取組は推進できており、引き続き教員・業者等にも取組内容の周知と環境負荷削減の意識啓発を行い、環境配慮及び環境保全に関する取組を進める。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教育推進課 舞岡キャンパス担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組】 ・担当内の資料共有はデータで行う。 ・印刷の必要性の再確認を徹底するよう、担当内ミーティング等で啓発する。	12.2 	両面N-up印刷、裏紙でのN-up印刷を徹底したほか、オンライン会議の開催により会議資料のペーパーレス化に繋がったことでコピー用紙の使用量を削減した。 これらの取組により、年度目標を達成した。(目標: 37,500枚、実績: 25,000枚)
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組】 ・事務室及び各研究室で生じた不要備品の再利用を行う。 ・分別方法について所内周知を行い、廃棄物の分別を徹底する。	12.2 	物品の購入時は必要性を十分に精査し、廃棄物量の削減に努めたことで廃棄物と資源化物の総量は令和元年度実績を下回った。 また、ごみ箱の周辺に分別に関するポスターを掲示し、廃棄物の分別を徹底している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取組】 ・消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける ・グリーン購入について定例決裁時に都度確認し、適合品を意識する。	12.2 12.7 	消耗品・備品購入時には、引き続きグリーン購入を基本とする対応を徹底している。 グリーン適合商品として即時判断が難しい場合にも、メーカーのサイト等の情報確認を適切に行う等、担当職員の環境管理にかか意識が定着している。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取組】 ・ブラインド使用による、所内温度上昇の防止(夏季) ・空調と扇風機の併用。	7.3 12.2  	夏季においてはブラインドの使用により建物内の所内温度の上昇を抑えた。また冷房と扇風機・サーキュレーターを併用し、室内の冷気を循環させることで効率的に空調を稼働させることができた。 また、省エネに関するポスターを掲示し、使用しない施設の消灯や階段の利用推奨等を呼びかけている。 これらの取組により、電力使用量は令和元年度実績を下回った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
啓発	研究所広報・地域貢献活動を通じ、木原生物学研究所の研究内容・取り組みを発信することで、気候変動、環境保護に係る啓発を行う。	・研究所ウェブサイトのコンテンツ整備・充実 ・SNSや情報誌等のメディアを通じた自治体等外部との連携。	4.4 13.3 17.17   	活動内容を木原生物学研究所・本学ウェブサイトに掲載し、SDGs取組に係る情報発信を行った。 また、「戸塚区出張授業・施設見学等ガイド」に研究所情報を掲載し、SDGsに関わる取組を紹介した。
キャンパスの管理運営	電気、ガス、水道使用量の削減に積極的に取り組む。	・電気、ガス、水道使用状況を月次単位で確認し、分析を行う。 ・掲示、メール等により定期的に周知を行い、教育・研究活動において、電気、ガス、水道使用削減に取り組む。 ・老朽化した設備を更新し、省エネ化を図る。	7.3 	電気・ガス・水道については、中央監視室と連携し月次の使用実績を確認している。 また、キャンパス内の掲示等で意識啓発を行っており、キャンパス全体で省エネに取り組んでいる。 老朽化した設備の更新、LED照明化に更新することにより、省エネ化を図った。
次年度の課題	・オンライン会議が定着し会議資料のペーパーレス化は完了したことから、今後は教職員一人ひとりが電子データによる資料の閲覧・共有等を徹底することでコピー用紙使用量を抑制する。 ・研究所としての特性上、24時間稼働させなければならない機器も多い。これらの機器については、老朽化したものを随時更新することで省エネ化に繋げる。			
環境活動者の取り組み評価	・共通項目における年度目標を着実に達成する等、研究活動と環境への配慮の両立に取り組んだ。 ・省エネルギーについては教員とも意見交換を実施し、所内の委員会等で定期的に情報発信を行う等、意識啓発に取り組んだ。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 学生支援課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N・up印刷又は裏紙でN・up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組】 ・課内での情報共有は、メールの添付資料等で行う。 ・カラーコピーは原則禁止。グラフ等を活用する場合は、白黒でも見やすい資料作りを行う。 ・裏紙を積極的に利用する。 ・課内ミーティングではZoomを使用している。	12.2 	資料等は基本的に両面印刷とし、コピー用紙の使用削減に努めている。また、会議や打合せにはZOOMを積極的に利用している。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組】 ・個々人で廃棄物の分別を徹底する。 ・他部署で発生した不要備品等の再利用を進める。	12.2 	ごみの分別を徹底して行っている。また、事務用品の購入は、最低限必要な物品に留め、他部署での不要備品等を再利用している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積りに確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 【各取組】 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 ・グリーン購入の徹底を図る。	12.2 12.7 	事務用品等の購入の際、極力、グリーン購入法適合品を購入している。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。観覧キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・照明のLED化 【各取組】 ・こまめに冷暖房等の運転・停止、廊下の消灯等を行う。	7.3 12.2  	執務室の冷暖房の運転・停止をこまめに行っている。その他、常に節電を意識して行動している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
学生への啓発・指導	環境に配慮した取組・行動を学生へ啓発・指導する。	・環境に関する情報について、SNS等を活用し、学生へ周知・啓発を行う。 ・施設利用後、速やかに照明の消灯、空調の停止等を行うよう、節電への取組を学生に対し指導する。 ・環境に配慮した取組を行う企業情報について、キャリア支援センターの書籍等の貸出、雑誌新聞等の閲覧機会の提供により、学生へ啓発を行う。	7.3 12.2 4.3   	・施設利用後の消灯等、学生に対して節電への取組に関する指導を行っている。 ・企業の環境問題への取組や社会動向について、日経新聞や東洋経済等のビジネス誌をキャリア支援センターに配架するとともに、企業研究の書籍貸出を行うことで、学生への啓発を行っている。
学生と連携したSDGsの取組	学生と連携し、学内の更なる環境向上を図るとともに、SDGsの必要性を広めるため、学食におけるサステイナブル・シーフードの活動を継続的に支援する。	・学内の課題(放置自転車等)解決に向けて取組む環境向上プロジェクト委員会の学生に対し、学内環境の更なる向上が図れるようサポートする。 ・学生団体が企画し、実現した学食におけるサステイナブル・シーフードの活動について、令和4年度の安定的な実施と令和5年度に向けた更新手続き等をサポートする。	12.8 14 17   	・令和3年度に金沢八景キャンパス環境向上プロジェクト委員会を発足させ、取組を支援してきたが、9月末よりメンバー不在の状況のため、課題が未解決となっている。 ・学食におけるサステイナブル・シーフードの活動を継続的に支援し、学園祭でのメニュー提供も実現させ、学内外に広く周知した。多くのメディアにも取り上げられ、取材のサポートを行った。
学生への食の支援及びフードロス削減の取組	生活が厳しい学生に対し、食の支援を行うとともに、フードロスの削減を併せて推進する。	・関係機関・団体と連携し、生活が厳しい自宅外生等の学生に対して、食料品を配布する。また、食の支援を推進することにより、フードロスの削減を併せて進める。	1.5 2.1 12.3 12.5 17    	・『循環型「食」の協働プロジェクト』として、次の活動を実施。 ・厳しい状況にある学生への「食の支援」全3回、のべ366人へ配布。 ・ロソ品(食品及び生活用品等)の全キャンパス配布 ・学生団体(ボランティア支援室学生スタッフ Volunch&Table for Two横浜国立大学支部)の学内外フードドライブ活動の実施サポート。 ・食支援に関わる学生ボランティアの派遣等サポート
海洋問題への取組	「海洋ゴミ問題」を理解し、ゴミ拾いを行う。	・事前に「海洋ゴミ問題」についてのワークにより理解を深めた後、野島海岸のゴミ清掃ボランティアを行う。	14 17  	・「1Day Volunteer」として野島海岸清掃を2回実施。のべ50名参加。
海洋問題への取組	コンタクトレンズのケース(プリスター)を回収し、海洋プラスチック問題の解決の一端とする。	・株式会社シード「BLUE SEED PROJECT」と連携し、コンタクトレンズのケース(プリスター)を回収する企画を地域貢献担当と協働で行う。	12 14 17   	・学生団体「Clover(シーラバ)」を発足し、金沢八景キャンパスでのプリスター回収や海岸清掃、海の環境問題への啓発活動などを実施(学生の活動を随時サポート)。
次年度の課題	学生支援課としては概ね、SDGsに向けた課題認識を持って業務にあたっている。その中で学生担当では、学生が年々移り変わっていく中で、学生への意識の醸成をどのように継続して行っていくか、学生の主体的な取組に対する支援も含めて、適切な方向を検討する必要がある。また、セミナー等のイベント開催頻度が高いキャリア支援担当においては、イベント時に配付する資料(紙媒体)の提供状況が課題である。ペーパーレス化の推進に向け、学生に対しノートパソコンやタブレット等での閲覧を推奨し、資料についてデジタル化するなどの工夫を講じていく。			
環境活動者の取り組み評価	学生支援課が主体的に取り組む内容については、計画通りに実施した。学生の主体的な取組を前年度に引き続き実施し、複数メディアや受賞されるなど、学外からも高い評価を受けている。今後も学生が主体的な取組は支援を行い、かつ学内外に広く発信することで、SDGsに対する意識付けを行っていく。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス アドミッション課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組】 ・裏紙の使用について課内で積極的に声掛けを行う。 ・進学相談会で使用する相談者カードをFormsでの管理とし、データ化を図る。	12.2 	Zoom等によるオンライン会議を継続して実施することや、裏紙の積極的な使用により、コピー用紙の使用機会を減少することが出来ている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組】 ・封筒、段ボールやクリアファイル等を繰り返し使用することで、廃棄物を削減する。	12.2 	入試や広報活動で使用する物品について、リサイクル可能な物は新たに購入せず、何度も繰り返し使用している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取組】 ・物品購入の際に、適合品で代替商品があるかを必ず確認する。	12.2 12.7 	環境管理システム研修を通じて、課内への周知を徹底する。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取組】 ・テレワークや残業時間を削減することで執務室の電力消費量を削減する。	7.3 12.2  	定時退勤日(週1回)を設け、電力消費量を削減している。また、季節に合わせた軽装での勤務を心掛けるなど、省エネルギー行動を推進している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
リサイクルによるゴミの削減	無駄な購入を避けることと、物を有効活用することでゴミの発生を抑える。	・物品購入の際に、必要数以上に物品を購入しないように、物品の在庫数を必ず確認し最後まで大切に使い切るよう意識づける。 ・封筒やクリアファイル、段ボール等の再利用に取り組む。	12.2 	物品購入の際に、在庫数と使用見込数を確認することで、適正な数量を購入している。
会議等のオンライン化を促進する	広報活動や会議において、SNSやZoom等を用いて、効率化を図る。	・オンラインでの会議の開催を継続することや、テレワークを積極的に行うことで、移動に伴うエネルギー消費を削減する。	7.3 	入試説明会、オープンキャンパスや会議において、オンラインで対応可能な場合は、Zoom等による開催とすることで、エネルギー消費削減に取り組んでいる。
次年度の課題	・物品購入時の在庫数確認を徹底する。 ・紙の在庫管理状況や使用予定を課内で共有し、適正な在庫となるようにする。 ・光熱水費削減への取組みは、全学的に取組む必要があるため、予算を超過している状況を課内で共有し、引き続き省エネルギー行動を推進する。			
環境活動者の取り組み評価	入試の実施や広報活動にあたっては、課員ひとりひとりがリサイクルの意識を持ち、環境への配慮に取り組んでいる。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 保健管理課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取組】 ・コピー機背面の壁に月別使用枚数を掲示し、視覚化により枚数削減意識を高める。 ・目標値を超過しそうな場合は、朝礼・課内ミーティング等で周知する。	12.2 	・両面N-up印刷等は可能な範囲で対応できた。 ・オンライン併用の委員会・会議等では、事前に資料をEメールで送付している。 ・月別使用枚数をコピー機前に掲示して視覚化しているため、削減意識は高まっている。 ・学生健診の問診は、WEB問診を実施している。紙での出力は必要最小限の受診票部分のみとし、使用量の削減につなげている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取組】 ・文房具等の消耗品在庫の定期的な整理整頓を実施し、適正量を管理する。	12.2 	・マイバッグ・マイボトルの使用や丁寧な物品の扱いは浸透している。 ・物品購入時は十分に検討した。 ・文房具等の定期的な整理整頓により、在庫量を管理できているため適量を購入できた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取組】 ・グリーン購入について、引き続き課員への周知をミーティング等で徹底する。	12.2 12.7 	・カタログや購入先に確認をしてから購入している。 ・課員にはミーティング等で周知した。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取組】 ・感染症拡大防止のため定期的な換気を実施しつつ、効果的に冷暖房を使用する。	7.3 12.2  	・感染症拡大防止のため、定期的な換気を考慮しながら効率的に冷暖房を使用した。 ・暖房用電気ヒーターは数年前に全て廃棄したが、服装やひざ掛け等の使用で調節できている。 ・不在時の消灯(保健室・面談室・打合せスペース等)は確実に実施できた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
薬品在庫管理	保健室内の薬品の在庫を定期的に把握し、適量を管理する。	・薬品の漏えい、排水による汚染を起こさない。	14.1 	・薬品在庫の棚卸を年2回定期的に実施し、適正量を管理している。
受動喫煙防止	キャンパス内敷地内全面禁煙は周知徹底されているが、啓発等を継続する。	・保健管理センターニュースや関連ポスター等の掲示による情報発信(世界禁煙デー等)を行う。 ・学内の各種会議・委員会等で周知する。	3.a 11.6  	・教職員健康診断結果の同封資料で啓発をした。 ・安全衛生委員会等で周知した。 ・行政等から送付されたポスターやチラシを掲示・配架し情報発信を行った。
次年度の課題	職員の意識をさらに高めるため、課内ミーティング・朝礼等での定期的な環境管理システムについての共有が必要となってきます。			
環境活動者の取り組み評価	省資源・省エネルギー等の主な取り組みは定着しており、引き続き実施できる見通しです。所管業務に係る取組は確実に実施できており、次年度以降も継続します。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 学術情報課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取り組み】 ・会議のオンライン実施を促進し、昨年度に引き続き、資料のペーパーレス化に取り組む。	12.2 	令和4年度コピー用紙購入枚数は、購入単価を低く抑えるため翌年度使用分までまとめ発注を行ったこともあり、A4換算125,000枚(R3実績75,500枚)となり、前年実績以下の目標は不達となったが、今後も引き続き会議資料のペーパーレス化等を推進し使用枚数の抑制に努めてゆく。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取り組み】 ・受入れ不要と判断した資料について、適時古本基金、古本売却等行い資源の利活用へつなげる。 ・館内のスペースを有効に使用するため、修理不可な備品等について速やかに処分する。	12.2 	リサイクルについては、文書廃棄する書類とファイルを分別し、今年度の帳票用に積極的に再利用を行った結果、新規購入は一切発生しなかった。ホワイトボード用ペンやテプラテープ等については、在庫内から選り使用するなど、安易な新規購入をしないよう努めた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取り組み】 ・グリーン適合の有無について、定例決裁簿の同時に都度確認。	12.2 12.7 	消耗品購入に際しては定例決裁簿での承認依頼時、グリーン適合について3つ選択肢(適合・非適合・非該当)のチェックが必要なことから、都度確認を行い、非該当の商品以外は限られた予算の中でも努めてグリーン適合の商品を選ぶよう引き続き心掛けた。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取り組み】 ・窓開け、扇風機での温度調整の促進。 ・図書館内及び館外実習室の照明の節電実施。	7.3 12.2  	必須取組項目に留意して運営することが出来た。特に冷暖房においては、こまめにサーキュレーターを併用することでより効率の良い温度管理と節電に取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
SDGsの取組	昨年度に引き続き、SDGs周知に関する取組み、環境問題に配慮した事務作業の見直しを行い、社会問題の解決に取り組む。	・他部署のSDGsに関する取組みを図書館からSNSや図書館だよりを使って発信する。 ・ひとりひとりが日常生活においてできる身近なSDGsへの取組みを調査し、利用者への情報提供する。	4.7 	学術情報センターにおいて、SDGsに関する資料の企画展示を実施した。令和2年度から開始した、学生LS企画立案による「SDGs本棚」の実施のほか、SDGs関連の電子ブック等を積極的に収集し、関連する企画展示の開催に合わせ、QRコードを掲載したカードを設置したり、それらを取り上げたオンライン展示も実施した。
次年度の課題	館内(事務室内、情報実習室及びガイダンス室を含む)において、利用者のいない部屋のごまめな節電を行う。蛍光灯の交換時は、消費電力の少ないLEDにする。 の活動により、事務室内の空調機(冷暖房温度設定不可)にかかる電気使用量をカバーする。 他大学等から寄贈される資料のうち、Web公開されている資料については、積極的に冊子体送付の不要連絡を行い、本学のみならず先方の省資源化も図る。			
環境活動者の取り組み評価	・コピー用紙をまとめて発注したことにより、前年実績(R3実績75,500枚)を下回ることができなかったものの、他の項目においては、おおむね目標設定どおりに取り組むことができた。			

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類からデータによる文書保管の推進 配付済み資料の持参 紙配付資料の削減 コピー機前に月別使用枚数を掲示し、視覚化により枚数削減意識を高める。 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> 各種書類等、押印省略が一般化し、紙媒体ではなく、データによるやり取りがすんだため、コピー用紙の使用量削減につながった。 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷を日常的に行うことができた。 紙媒体によるファイリングを見直し、データによる文書保管をすすめた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物マニュアルの周知と利用推進 分別の徹底 不要備品の再利用(机、棚等) 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> マイボトル、マイカップの利用を積極的にに行った。 事務用品、備品は、不具合があってもできる限り修理し、長く使用している。 YCU netの再利用品コーナーを、頻りにチェックし、譲ることも、譲ってもらうことも積極的に行った。 ゴミ分別方法に迷ったときは、廃棄物マニュアルで調べ、施設担当へ問い合わせた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 <p>・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</p> <p>・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。</p> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける 	12.2 12.7 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品、備品の購入の際は、グリーン購入法適合商品、グリーン商品(環境対応商品に準拠されている商品)グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する「エコ商品ねっと(GPNデータベース)」に掲載されている商品を選ぶように心掛けた。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は2UP3DOWN 照明のLED化 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラインドの使用 空気攪拌(扇風機)機の併用 離席中におけるPCの省電力状態の徹底 	7.3 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> 各職員がブランケットやダウンなど持参し防寒対策に努め、執務室内のエアコンの設定温度を抑えた。 昼休憩時は、執務室内窓側の照明をOFFにした。 昼休憩時は、各デスクのノートPCを閉じ、モニターの電源をOFFにした。 窓に気泡緩衝材等で目張りすることにより、執務室内の暖房効率をあげた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議の運営	新型コロナウイルス感染症対策及び移動時間の有効活用等を推進するため、各種会議については、Web会議・メール会議を積極的に取り入れるとともに、対面会議においても、PCやプロジェクター等を活用することにより、コピー用紙の削減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> Web会議・メール会議の積極的な導入 PC、プロジェクター等の活用 紙配付資料の削減 	7.1 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> 学内外の会議ではWeb(Zoom等)を積極的に活用すると共に、資料の事前データ共有や画面共有を行い紙配付資料の削減に努めた。 担当業務のシステム化をはかり、紙媒体でのやりとりを削減した。
働き方改革の実施	新型コロナウイルス感染症対策等によって促進された環境整備と取り組みを進化させ、更なる教職員の柔軟な働き方につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> テレワークや時差出勤の推進 休暇取得の促進 	8.5 	<ul style="list-style-type: none"> 学内の制度やシステムを活用し、テレワーク・時差出勤を推進した。
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙の削減に取り組むため、継続して会議での紙配付資料の削減を行っていく。 働き方改革の一環として、押印廃止や電子押印・デジタル署名の導入についても、各所管に働きかけを行い改善していくことを検討する。 			
環境活動者の取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 学内外の会議では資料の事前データ共有や画面共有を行うことで紙配付資料の削減をはかることができています。 所管業務目標設定である働き方改革の実施については、昨年度に引き続きテレワークや時差出勤を積極的に推進した。 担当業務のシステム化を行い、紙媒体でのやりとりを削減することができ、また、業務も効率的に行うことができた。 			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 研究基盤課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子媒体での資料確認を積極的に推進する 回覧の活用 eラーニングによる説明会の実施 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> 各種書類等、押印省略が一般化し、紙媒体ではなく、データによるやり取りがすすんだため、コピー用紙の使用量削減につながった。 両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷を日常的に行うことができた。 紙媒体によるファイリングを見直し、データによる文書保管をすすめた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイバッグ、マイボトルの利用。 丁寧に物を扱い、長く使用する。 購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 壊れたものはできる限り修理して再利用する。 YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物マニュアルの周知と利用推進 不要備品の再利用(机、棚等) 再利用物品コーナーでの活用 	12.2 	<ul style="list-style-type: none"> マイボトル、マイカップの利用を積極的に行った。 事務用品、備品は、不具合があってもできる限り修理し、長く使用している。 YCU netの再利用物品コーナーを、頻りにチェックし、譲ることも、譲ってもらうことも積極的に行った。 ゴミ分別方法に迷ったときは、廃棄物マニュアルで調べたり、施設担当へ問い合わせた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理研修にて職員への啓発 カタログ又は見積先に確認 見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 <ul style="list-style-type: none"> 先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける 	12.2 12.7 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品、備品の購入の際は、グリーン購入法適合商品、グリーン商品(環境対応商品に準拠されている商品)グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する「エコ商品ねっと(GPNデータベース)」に掲載されている商品を選ぶように心掛けた。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 冷房期温度28、暖房期を19 暖房用電気ヒーターの禁止 季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 教室、部屋の不在時消灯 エレベーター使用時は2UP3DOWN 照明のLED化 <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラインドの使用 空気攪拌(扇風機)機の併用 離席中におけるPCの省電力状態の徹底 	7.3 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> 各職員がブランケットやダウンなど持参し防寒対策に努め、執務室内のエアコンの設定温度を抑えた。 昼休憩時は、執務室内窓側の照明をOFFにした。 昼休憩時は、各デスクのノートPCを閉じ、モニターの電源をOFFにした。 窓に気泡緩衝材等で目隠しすることにより、執務室内の暖房効率をあげた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> PC、プロジェクターの活用 紙配付資料の削減 WEB会議(Zoom、Teams)の活用 	7.1 12.2  	<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせの際もPC上で資料を共有することや、WEB会議(Zoom、Teams等)の活用により、紙資料の配布削減に努めた。
研究環境の整備	研究棟のコピー機利用状況を把握し、経費削減に努めるよう教員へ周知する。退職教員の研究機器、資料等の廃棄を行い、研究環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 研究棟コピー機の消耗品(用紙)は在庫を定期的に確認し、必要数を発注することで経費削減に努める 研究棟の不要機器や資料の整理・廃棄を進める 	9.1, 9.4 12.2, 12.5, 12.7  	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き研究棟のコピー機利用における経費削減などを教員へ周知し、ペーパーレス化を推進した。 各研究棟の不用品の整理・廃棄を行い、打合せスペースにおける研究環境の維持に務めた。
働き方改革の実施	研究費執行に係る事務の効率化を図ることで、教員の研究時間を確保し、研究支援基盤の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 必要書類やフローの見直し システム導入検討 	7.3 8.3  	<ul style="list-style-type: none"> 研究費検討会を通じて各種研究費書類について可能な限り、押印廃止の仕組みを検討し、実施した。
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化を念頭に置いたWeb会議の活用等効率的な業務運営と省エネを意識して業務を遂行する。 引き続き、所管業務においては、研究環境の充実と、研究関連の事務業務の効率化を検討する。 			
環境活動者の取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> 共通項目の取り組みでは、打ち合わせ時のPC上での資料共有やWEB会議の活用等によりコピー用紙の削減に努めた。 物品購入に際しては必要性及び在庫の確認や再利用物品の活用等により適量購入に努めた。 所管業務においては、引き続き各研究棟の不用品の整理・廃棄を実施し、打合せスペースの確保など研究環境の保持に務めた。また、研究費検討会を通じて各種研究費書類について可能な限り、押印廃止の仕組みを検討し、実施した。 			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教員

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	【必須取組】 ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 【各取り組み】 ・講義、演習用教材はYCU-Board、会議資料はTeamsのファイル機能などを使用し、更なるペーパーレス化を行う。	12.2 	昨年度に引き続き、各種会議は全てオンラインで開催されたため、コピー用紙の消費は昨年と同レベルを維持した。授業も約8割の対面授業を維持しており、学生のノートパソコン持参も定着したことでコピー用紙はほとんど使用されていない。取り組みはほぼ達成された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	【必須取組】 ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCU-netの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 【各取り組み】 ・レジ袋やプラスチックスプーン、割りばしの利用を控える	12.2 	マイバック持参とレジ袋をもらわない心掛けは定着しつつある。産廃物の正しい処分については、より徹底が必要と感じた。また、YCU-net再利用品コーナーも教員への周知が必要。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	【必須取組】 ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 【各取り組み】 ・国際総合科学群教員会議でグリーン購入を推奨する。	12.2 12.7 	教員向けには環境管理研修への全員参加するように注力した。今後もこれを継続したい。グリーン購入については、効果の見える化が課題であり、検討したい。
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	【必須取組】 ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28、暖房期を19 ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 【各取り組み】 ・研究室、研究棟内の廊下、トイレのこまめな節電	7.3 12.2  	新型コロナ禍を経て、教員、学生共にエレベーターの使用を控える習慣が定着した。エアコンの温度設定については、個人研究室の状況把握が難しい点が課題。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
環境政策に関する研究への取り組み	本学の環境管理にも役立つ研究は、積極的に公開する。	・論文発表、Researchmap等で公表。	6.1・6.3 7.2・7.3・7.6 13.1・13.6 14.1・14.2 15.1~15.7     	昨年同様、公表されている研究成果を効果的に学内周知する方法を検討。
海洋環境に関する研究への取り組み	研究成果を公開し、本学の海洋環境への取り組み姿勢を示す。	・論文発表、Researchmap等で公表。	13.1・13.6 14.1・14.2  	昨年同様、公表されている研究成果を効果的に学内周知する方法を検討。
次年度の課題	令和5年4月から全面対面授業に戻る。また、学部教授会などは対面会議に戻る。気温上昇にある現状を踏まえた適切な目標設定が課題となると思う。例えば、夏季のエアコン温度設定やエアコン稼働時間は変更の必要はないのか、など。			
環境活動者の取り組み評価	概ね目標は達成できた(最善は尽くした)。			